1）指定教具またはそれに相当する教具を用いる。
2）入れ子が5個収まった状態から取り出して見せる。
3）「もとのようにひとつにしてね」。困難なら1こだけ入れてみせる。できるまで試行錯誤させる。
4）容易にできたら10個の課題にもトライ。

a）大小比較の系列的な連鎖。具体的な操作を試行錯誤できる。
b）系列的な連鎖の体験は、量の概念や推移律につながる先行体験となる。

Date ／
Note
評 □